

# 伊藤滋会長特別講演開催レポート

2016年5月14日開催

去る5月14日（土）、特定非営利活動法人日本危機管理士機構主催で、伊藤滋会長とジェネスプランニング株式会社の三船康道様をお迎えしての特別講演会を開催致しました。4月に発生した熊本地震を受けて急遽題目を変更し、「熊本地震速報。益城町について」というテーマでご講演頂きました。

当日は、本震の発生直後に現地に入られた三船氏より、被災地の甚大な被害状況や混乱の様子をご報告頂きました。実際に倒壊・半倒壊した建物の詳細なご説明から、三船氏は旧耐震基準で造られた建築物や、耐震性が適用除外されている重要文化財の脆弱性・危険性を指摘します。

また、今回の熊本地震では一回目の地震で建物が倒壊を免れても、その後の複数回に渡る余震で倒壊するケースが散見されました。これを受け、講演の後半では「現在の耐震基準が一度の地震にしか対応していない」という問題点が熊本地震の教訓として挙げられました。耐震基準が絶対的なものではないことを示した上で、基準の改訂や、複数回の地震に耐え得るための免震化・制震化への取り組みが今後重要となることが強調されました。

